

政策シート

(政策名) 交通安全対策
(予算費目名) 道路企画費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

- ①市民の交通安全意識の向上
- ②幹線道路における交通事故抑止対策
- ③通学路の交通安全対策
- ④生活道路の交通安全対策

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	2,633,815	3,224,864	2,896,030	3,001,933
決算	3,209,961	4,283,269	2,817,581	
人件費(A)	38,500	44,800	51,800	51,800
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	3,248,461	4,328,069	2,869,381	3,053,733

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
事故危険箇所対策等事故削減対策(51箇所)整備率	%	100	目標	25	40	50	60
			実績	25	30	35	
道路照明灯LED化更新率	%	100	目標	20	40	60	80
			実績	10	23	27	
経路案内標識改善(英字表記化率)	%	100	目標	15	35		
			実績	30	100		

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

- ①市民の交通安全意識の向上
- ②幹線道路における交通事故抑止対策
- ③通学路の交通安全対策
- ④生活道路の交通安全対策

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

- ・幹線道路における交通事故抑止対策は、国道152号薬師町単路部の工事が完了、国道257号初生町単路部及び三方原交差点の設計が完了。
- ・道路照明灯LED化更新事業は、国への予算要求額に対し、国の交付金額が半減し、当初の目標値に達することが不可能であったが、交通量の多い幹線道路からの更新が可能であったことから、事故防止の観点で期待ができるものである。
- ・生活道路対策では、計3地区の対策を実施した。
- ・通学路の交通安全対策では、グリーンベルトや注意喚起標識の設置等、計69件の対策を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	交通安全施設等整備・修繕事業	○	○	○		2,691,040	2,673,540	2.5				
2	道路照明LED化更新事業		○	○		216,080	205,580	1.5				
3	交通安全推進事業					146,613	122,813	3.0			1.0	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						#####	3,001,933	7.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 交通安全施設等整備・修繕事業

◇事業目的・事業対象

・自動車交通分担率が約67%と突出している本市においては、歩行者(高齢者や子ども、障がいのある人等)及び自転車などの交通弱者の安全対策が重要であり、「人優先」の考えの下に安全で安心な道路交通環境の整備を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.125】

- ・幹線道路等の国交付金を活用した「歩道等の整備」及び「交差点改良」、「平面横断化」の実施(継続事業)
- ・幹線道路等の「事故危険箇所」、「交通事故多発交差点」等における事故削減対策の実施(継続事業)
- ・通学路整備要望(市内小学校・幼稚園)による「通学路」等の安全対策の実施(継続事業)
- ・生活道路等の「ゾーン30指定区域」等における歩行者・自転車対策の実施(継続事業)
- ・歩行者と自転車利用空間を分離する等、相互の安全性向上を目的とした自転車走行空間等整備の実施(継続事業)
- ・各区からの交通安全施設の要望に基づく「道路照明灯」、「道路反射鏡」、「防護柵」、「区画線」、「道路案内標識」等の設置及び修繕の実施
- ・限られた予算の中で地域の実情に即した早期の整備効果を発現させるため、現道幅員等を有効に活用したコスト削減方策(グリーンベルト等)による歩行空間の確保

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S27	-	一般会計	自治事務(法令義務)	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律・交通安全対策、基本法・社会資本整備重点計画法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	2,317,834	2,828,362	2,664,102	2,673,540
	決算	3,097,904	3,692,930	2,588,611	
	国・県支出	729,455	781,220	454,461	424,325
	市債	562,700	616,000	321,300	311,700
	その他 一般財源 一般会計繰入金	1,805,749	2,295,710	1,812,850	1,937,515
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		17,500	14,000	17,500	17,500
人工	正規	2.5	2.0	2.5	2.5
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
国道257号連尺交差点外1箇所平面横断化整備率(%)				-		125
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	50	50	55	60		100
実績値	50	50	50			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
事故危険箇所対策等事故削減対策(51箇所)整備率(%)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	25	40	50	60		100
実績値	25	30	40			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
自転車走行空間等整備率(%)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	30	40	50	60		100
実績値	30	30	40			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目No.125】

- ・幹線道路等の国交付金を活用した「歩道等の整備」及び「交差点改良」、「平面横断化」の実施
- ・幹線道路等の「事故危険箇所」、「交通事故多発交差点」等における事故削減対策の実施
- ・通学路整備要望(市内小学校・幼稚園)による「通学路」等の安全対策の実施(継続事業)
- ・生活道路等の「ゾーン30指定区域」等における歩行者・自転車対策の実施(継続事業)
- ・歩行者と自転車利用空間を分離する等、相互の安全性向上を目的とした自転車走行空間等整備
- ・各区からの交通安全施設の要望に基づく「道路照明灯」、「道路反射鏡」、「防護柵」、「区画線」、「道路案内標識」等の設置及び修繕の実施
- ・限られた予算の中で地域の実情に即した早期の整備効果を発現させるため、現道幅員等を有効に活用したコスト削減方策(グリーンベルト等)による歩行空間の確保

[決算2,588,611千円(うち前年度繰越151,826千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・幹線道路における交通事故削減対策は、国道152号薬師町単路部の工事が完了、国道257号初生町単路部及び三方原交差点の設計が完了した。
- ・通学路の安全対策は、浜松市通学路交通安全プログラムに基づいた各小中学校等の要望について、歩道設置や路肩を利用した歩行空間の改善等、69箇所を実施した。
- 生活道路等の「ゾーン30指定区域」等対策については、平成29年度に指定された市内2地区の計3地区について、対策を実施した。
- ・自転車走行空間等整備については、国道152号伝馬町交差点から市役所前交差点区間と浜名湖周遊自転車道線の西区区間及び北区三ヶ日町の一部区間において、矢羽根型路面標示の設置が完了した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

交通事故発生状況別に各種事業が展開されており、現状の事業の中で、地域要因等により変化する事故形態に対応し、効果的な対策を実施する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

ビッグデータを有効に活用し、事故発生原因からの対策のみならず、事故を未然に防ぐ対策に重点をおいていく。

平成30年度

(管理番号)

03 04 03 01 002314000 01

(担当課)

道路企画課

(責任者)

山本 正孝

(作成日)

平成 30 年 7 月 1 日

補助シート

(事業名) 交通安全施設等整備・修繕事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
125	・交差点平面横断化工事(連尺交差点工事着手)	・交差点平面横断化工事(連尺交差点H28.12完成予定)	・交差点平面横断化工事(伝馬町交差点H29以降整備(完了))	・交差点平面横断化工事(伝馬町交差点H30以降整備(完了))

事業シート (事業名) 道路照明LED化更新事業

◇事業目的・事業対象

道路照明灯のLED化により消費電力量の削減に伴うトータルコストの縮減(電球の長寿命化による維持管理コストの縮減)やCO2排出ガス削減等の環境負荷の低減を図ることを目的とする。
また、安全で円滑な道路交通の確保を図るとともに、倒壊防止など防災上の観点から道路施設の適正な維持・更新を推進するため、経年劣化する道路照明灯の計画的な修繕・更新を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.74】
 ・道路照明灯については、これまで水銀灯や高圧ナトリウム灯設置されていたが、近年の技術開発により消費電力が少なく維持管理コストの縮減や環境負荷の低減にもつながるLED灯に更新する。
 ・また、老朽化等により劣化が進んだ支柱について、LED化と併せて更新(交換)する。
●LED化更新対象数量
 道路照明灯更新対象 12,322基(市内全灯) 総事業費 約2,200,000千円
 ・灯具更新 11,892基(LED化のみ)
 ・支柱更新(予定) 430基(LED化+支柱更新)
 事業期間H27~H31(5箇年)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	H31	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	200,000	270,000	112,875	205,580
	決算		468,044	112,875	
	国・県支出		246,250	55,000	96,800
	市債		187,600	40,400	71,100
	その他		34,194	17,475	37,680
	一般財源				
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等)(千円)					
人件費(千円)		3,500	7,000	10,500	10,500
人工	正規	0.5	1.0	1.5	1.5
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
道路照明LED化更新率(%)				-		74
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	20	40	60	80	100	100
実績値	10	23	27			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目No.74】
 ・道路照明灯については、これまで水銀灯や高圧ナトリウム灯設置されていたが、近年の技術開発により消費電力が少なく維持管理コストの縮減や環境負荷の低減にもつなげるLED灯に更新する。
 ・また、老朽化等により劣化が進んだ支柱について、LED化と併せて更新(交換)する。
 ●LED化更新対象数量
 道路照明灯更新対象 12,322基(市内全灯) 総事業費 約2,200,000千円
 ・灯具更新 11,892基(LED化のみ)
 ・支柱更新(予定) 430基(LED化+支柱更新)
 事業期間H27～H31(5箇年)

・事業の成果と課題

指標の達成度

 ・道路照明灯LED化更新事業は、国への予算要求額に対し、国の交付金額が半減し、当初の目標値に達することが不可能であったが、交通量の多い幹線道路からの更新が可能であったことから、事故防止の観点で期待ができるものである。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

概ね点検結果に従い、実施の開始ができていますが、LED化が困難な道路照明灯もあり、技術的な実績を積みながら、クリアしていく。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

消費エネルギーの省力化の観点では、速やかにLED化したいと考えるが、各年度の必要な予算確保が課題点である。

補助シート (事業名) 道路照明LED化更新事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
74	・LED化更新工事 ・照明灯柱更新	・LED化更新工事 ・照明灯柱更新	・LED化更新工事 ・照明灯柱更新	・LED化更新工事 ・照明灯柱更新

事業シート (事業名) 交通安全推進事業

◇事業目的・事業対象

交通安全に関する知識の普及、交通安全意識の高揚を図るための安全教育並びに交通安全広報活動の実施により交通事故総量の削減を図り、交通事故のない社会を目指す。

◇事業の概要

- 交通安全思想の醸成のための事業
 - ・広報啓発活動
 - ・交通安全指導員(子供や高齢者等に対し交通安全教育を行う(市内5署に34人))の設置に対する負担
- 浜松市交通安全計画等の策定
- 浜松市交通事故防止対策会議の運営(事務局事務)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S46		一般会計		交通安全対策基本法	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	115,981	126,502	119,053	122,813
	決算	112,057	122,295	116,095	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等)(千円)	その他				
	一般財源	112,057	122,295	116,095	122,813
	一般会計繰入金				
人工	人件費(千円)	17,500	23,800	23,800	23,800
	正規	2.5	3.0	3.0	3.0
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤		1.0	1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
人身交通事故発生件数削減(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	8,300	6,240	6,240	6,000	6,000	6,000
実績値	8,697	8,376				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- 交通事故防止対策会議の活動 = 従来の取組に加え各季交通安全運動、幼児から高齢者までの段階的、体系的な交通安全教育及びシュミレーターや危険予測トレーニングシステムを活用した体験型交通安全教室を推進。特に高齢ドライバーを対象とした教育の充実を図った。
- 人口10万人あたりの人身交通事故件数ワースト(政令指定都市中)脱出のため、浜松市交通事故防止対策会議及び幹事会を開催し、作戦内容を協議し決定した。
- 各季の交通安全運動期間 = 毎月10日20日30日には、交通安全啓発広報を実施し交通安全意識の高揚を図る。
- 交通安全指導員設置事業への負担金 = 各警察署に配置される交通安全指導員の設置費を県と市で2分の1ずつ負担
- 交通安全看板、横断旗、のぼり旗、啓発品等の配布
- 自発光式反射材の着用推進
- 平成29年度浜松市交通安全実施計画の作成 = 関係機関とともに平成29年度の浜松市における道路交通の安全に関し、講じようとする施策等を取りまとめた交通安全実施計画を作成。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- ・浜松市交通事故ワースト1脱出作戦を展開中であり、この中で、関係団体及び各団体の取組により平成29年においても、人身交通事故は削減できた。
- ・また、年度ごとに、新規事業を追加、既存事業を拡充することで、人身交通事故を毎年削減し、作戦期間(H27～H29)の3年間で約1千件(968件)を削減できた。
- ・しかしながら指標は達成できていない。

・事業の見直し

実施結果

大項目 改善 / 小項目 協働・助成 / 非常勤・再任用 事業費 拡大 人工 拡大

- ・区及び関係団体と連携して、重点対象の一つである高齢者の交通事故防止向け、交通安全教室の充実に取り組んだ。
※自動車運転適性検査器を活用した教室の実施等
- ・これまで主に交通安全週間に実施していた交通安全広報車による広報について、庁外事務連絡時においても極力実施することなど、広報を行う機会を充実させた。
- ・市民の交通安全意識の醸成を目指し、より身近である区役所等から区民に向けた各種情報の発信を行うこととした。

今後の方向性

大項目 改善 / 小項目 協働・助成 / 事業費 現状 人工 現状

- ・浜松市交通事故防止対策会議は、浜松市交通事故ワースト1脱出作戦は一定の効果があるとし、現在の事故削減傾向を維持・定着させるため平成32年度まで作戦を継続することを決定した。
- ・今後においても、関係機関、団体等との連携により、浜松市交通事故ワースト1脱出作戦のこれまでの取組を粘り強く継続するとともに、新たな取組(特徴的な事柄(追突事故が多い、交通安全意識が低い)等をターゲットとした取組等)を実施するなどして、人身交通事故件数の更なる削減を目指す。